

呼吸器機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測 身長 _____cm 体重 _____kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。(非該当)
- イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。(4級)
- ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。(4級)
- エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。(3級)
- オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。(1級)

3 胸部エックス線写真所見(_____年 _____月 _____日)

- ア 胸膜癒着 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- イ 気腫化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- ウ 線維化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- エ 不透明肺 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- オ 胸郭変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- カ 心・縦隔の変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)



4 換気機能 (_____年 _____月 _____日)

- ア 予測肺活量 _____ml (実測肺活量 _____ml)
- イ 1秒量 _____ml (実測努力肺活量 _____ml)
- ウ 予測肺活量1秒率 _____% ($=\frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式(L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18—91歳、女性18—95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (年 月 日)

ア O₂分圧 : _____ ・ ____ Torr

イ CO₂分圧 : _____ ・ ____ Torr

ウ pH : ____ ・ _____

エ 採血より分析までに時間を要した場合 ____ 時間 ____ 分

オ 耳朶血を用いた場合 : [_____]

6 その他の臨床所見

第1号様式の4（第2条の5関係）

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏名	年 月 日生（ ）歳	男・女
住所		
1 障害名（部位を明記）		
2 原因となった 疾病・外傷名	交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災・疾病・ 自然災害・先天性・その他（ ）	
3 疾病・外傷発生年月日	年 月 日	場所
4 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定）		年 月 日
5 総合所見		
6 将来再認定（障害程度の変化の見込）	要（時期 年 月）・不要	
7 その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付記する。 年 月 日 病院又は診療所の名称 所在地 診療担当科名 科 医師氏名 ㊞		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見（障害程度等級についても参考意見を記入すること。） 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する。（ 級相当） ・該当しない。		

（注意）

- 1 障害名には現在起っている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。
- 2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」（別様式）を添付してください。
- 3 障害区分や等級決定のため、郡山市地方社会福祉審議会から改めて次ページ以降の部分についてお問い合わせする場合があります。